

テールアルメ工法

NETIS掲載終了
QS-060012-VE

コンクリートスキンに取り付けられた補強材＝帯状の鋼材リップ）によって土を補強して構築される擁壁です。部材数が少なくシンプルな構造であるため、施工が簡易に出来ます。補強材が自由に配置出来るため、函渠や斜めのボックス等の取り合いへの対応が可能です。

●特長

- 1.最小限の用地幅で施工できます**
垂直盛土の為、用地の有効利用ができます。
- 2.高い垂直盛土ができます**
従来の擁壁に比べ低コストで高い垂直盛土が可能です。
- 3.短期間で施工できます**
プレハブ工法の為、工期短縮が可能です。
- 4.特殊技術は不要です**
規格材の組合せの為、熟練工や特殊技術は不要です。
- 5.部材の品質管理は安心です**
日本テールアルメ協会認定工場で作成します。
- 6.比較的やわらかい地盤でも施工できます**
基礎地盤への荷重が等分布で作用します。
- 7.美しいデザインができます**
環境に合わせたデザインスキンの製作ができます。
- 8.宅地にも使用できるタイプもあります**
宅造法認定品、建築基準法認定品です。



基本形状図

形状・寸法

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

河川関連

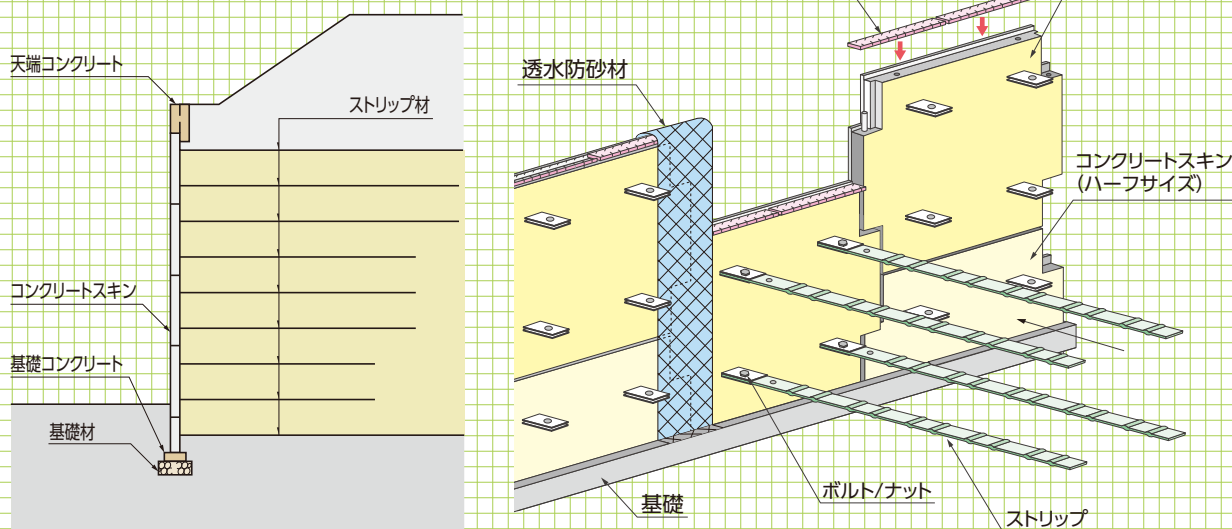
標準敷設図

貯水槽関連

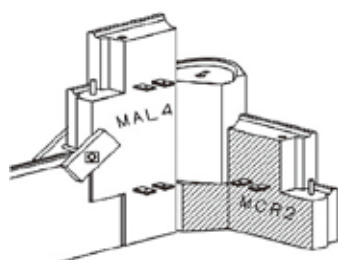
浸透製品・基礎類

景観関連・その他

■標準敷設図



マルチコーナースキン



公称寸法:850×1500(750)×140



内曲り



外曲り